

ジェーン・スー 女性と自立とこれからのこと フェリスを卒業したあとのロードマップ

フェリス女学院大学では、グローバル教養学部新設、および4年制大学化60周年を記念し、11月2日、緑園キャンパスにて講演会を開催します。本学文学部を卒業し、現在、コラムニスト、ラジオパーソナリティとしてご活躍のジェーン・スーさんを大学祭（Ferris Festival 2025）の会場にお迎えし、「女性と自立とこれからのこと——フェリスを卒業したあとのロードマップ」と題してお話いただきます。女性のキャリアと生き方について、ジェーン・スーさんならではの視点からの語りをご期待ください。

日時

2025年 **11月2日(日)**
14:50～15:50（14:35受付開始）

会場

フェリス女学院大学
緑園キャンパス キダーホール

講師

ジェーン・スー
コラムニスト・ラジオパーソナリティ

1973年東京生まれの日本人。本学卒業生。

TBSラジオ『ジェーン・スー 生活は踊る』（毎週月～木曜午前11時）のメインパーソナリティを担当。毎週金曜17:00に配信されているポッドキャスト番組「ジェーン・スーと堀井美香のOVER THE SUN」が、2021年3月

「JAPAN PODCAST AWARDS2020 supported by FALCON」にて「ベストパーソナリティ賞」とリスナー投票により決まる「リスナーズチョイス」をW受賞。

また、ポッドキャスト「となりの雑談」（毎週火曜20:00配信）のパーソナリティも担当している。

『貴様いつまで女子でいるつもりだ問題』（幻冬舎）で、第31回・講談社エッセイ賞を受賞。近著に『おつかれ、今日の私。』（マガジンハウス）、『闘いの庭咲く女 彼女がそこにいる理由』（文芸春秋社）、『へこたれてなんかいられない』（中央公論新社）、『介護未満の父に起きたこと』（新潮新書）など。2021年に『生きるとか死ぬとか父親とか』が、テレビ東京系列で連続ドラマ化され話題に。（主演：吉田羊・國村隼／脚本：井土紀州）

2025年8月現在、毎日新聞、AERA、婦人公論、Oggi、美STなどで連載を持つ。

チケット

無料（事前申込み）

※会場定員を超えた場合、
本学関係者を優先し抽選となります。



申し込みフォーム

（QRコードからお申し込みください）

10月20日（月）17:00締め切り
当選者には22日（水）までに
メールにてチケットを送付します